

2021年日独スポーツ少年団指導者交流〔オンライン〕実施要項

<主旨>

昭和42年(1967年)以来実施しているドイツスポーツユースとの指導者交流は、各級組織の運営、団組織の活性化等に大きな成果を上げるとともに、日独スポーツ少年団同時交流の充実にも大きな役割を果たしている。これら過去の派遣交流の成果を踏まえ、平成27年(2015年)に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、両国指導者を下記のとおり派遣・受入する。

※2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により Web 会議システムを用いたオンライン形態にて実施する。

1. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団

2. 期日・期間

2021年11月20日(土)～21日(日) 各日16:30～20:30(4時間)

3. 参加人数

50名(予定)

4. 参加者

(1) 参加資格

令和3(2021)年度スポーツ少年団に指導者または役員・スタッフ登録している者もしくは都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者。

(1) 申込方法

都道府県スポーツ少年団は、参加希望者をとりまとめ、所定の参加申込書により日本スポーツ少年団宛にE-mailにて申し込むこと。なお、20日(土)または21日(日)のいずれか1日のみの参加も可とします。

申込期限: 11月8日(月)

E-mail: jjsa@japan-sports.or.jp

5. 実施形態

新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点からWeb会議システムを用いたオンライン形式で実施

6. 内容

(1) 交流テーマ

「青少年の健全なる成長のためのスポーツと遊びの役割」

(2) ワークショップ

■ 11月20日(土)<1日目>

A: ドイツのスポーツクラブとスポーツ少年団の実情と課題

B: スポーツにおける暴力暴言・ハラスメント

■ 11月21日(日)＜2日目＞

C: 青少年期の発育発達のための運動プログラム

D: コロナ禍における青少年の心理面での影響とスポーツにできること

7. 日程(案)

時間	プログラム
■ 11月20日(土)＜1日目＞	
16:30～16:50 (20分)	オリエンテーション
16:50～18:20 (90分)	ワークショップ ※参加希望のテーマを各自選択いただきます。
18:20～18:35 (15分)	休憩
18:35～20:20 (105分)	ディスカッション ※各テーマの参加者同士でディスカッションしていただきます。
20:20～20:30 (10分)	オリエンテーション
■ 11月21日(日)＜2日目＞	
16:30～16:40 (10分)	オリエンテーション ※参加希望のテーマを各自選択いただきます。
16:40～18:10 (90分)	ワークショップ
18:10～18:25 (15分)	休憩 ※各テーマの参加者同士でディスカッションしていただきます。
18:25～20:10 (105分)	ディスカッション
20:10～20:30 (20分)	閉会式

8. 参加料

無料

9. 個人情報の取扱

本事業参加に際し取得した個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団および都道府県体育・スポーツ協会都道府県スポーツ少年団が、本事業の実施に関する業務にのみ利用し、これ以外の目的に個人情報を利用する際は、その旨を名刺、本人の了解を得るものとする。

10. Web 会議システムでの参加に関する注意事項

- (1) 参加者は、自己の責任において参加するために必要なパソコン、通信機器、通信回線その他の設備を準備し管理するものとします。参加者の都合によりオンライン研修に参加できなかった場合の一切の責任を負いません。
- (2) 参加するために必要な通信回線の利用料金は参加者が負担するものとします。
- (3) 参加者の各自が最新のコンピュータウイルス対策等がなされている機器を使用してください。主催者は、参加によりコンピュータウイルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負いません。

11. その他

Web 会議システムで参加する際に必要な URL や ID・パスワード等については、参加決定者に対して別途通知いたします。

※本事業は「Sport for Tomorrow コンソーシアム」から「Sport for Tomorrow 認定事業」として承認を受けています。Sport for Tomorrow とは、2014 年から東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する 2020 年までの 7 年間で開発途上国をはじめとする 100 カ国以上・1000 万人を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。世界のよりよい未来を目指し、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取り組みです。